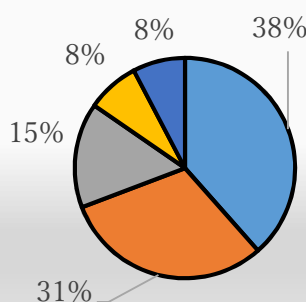


「地域と学校の連携・協働推進に向けて」

事業の内容

- 1 令和6年度(2024年度)社会教育入門講座 第5回
「地域と学校の連携・協働推進に向けて」
- 2 日時 令和6年11月11日(月)～11月29日(金)
- 3 場所 オンデマンド配信
- 4 人数 39名

参加者区分



- 教職員
- 教育委員会社会教育担当行政職員
- 社会教育主事・社会教育主事補
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構職員
- 社会教育施設職員

I プログラム

【オリエンテーション・行政説明】

「地学協働の推進について」

【進行】

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係
主査 国枝 知 氏

【内容】

「コミュニティ・スクール」や「学校運営協議会」の基本的な制度・役割についてご説明いただきました。

その後、学校を核とした地域づくりのための仕組みである「地域協働活動」についてご説明いただきました。

最後に、地学協働のポイントを整理したうえで、「コミュニティ・スクール」の導入から数年が経過しており、取組や意識が形骸化している場合があるため、そうした場合、改めて、委員の人選や目標の共有の熟議をするなどの機能する連携体制の構築に向けた改革が必要であると話がありました。

3 地学協働のポイント

* まとめ *

○ まとめ

- ・コミュニティ・スクール・地域学校協働活動の仕組みを使い、地域の力を活用した豊かな活動を実施
- ・学校運営協議会での目標共有・相互理解・目標達成の方法協議
地域学校協働活動での具体的な協働活動
- この**一体的推進**が重要
- ・地域との目標共有ができれば、地域の主体的な応援団が増え、学校の負担軽減に大きな力となる
- ・コーディネーター・学校の窓口の人材が重要。それらが機能するように理解を深めていく必要がある
※社会教育主事講習

※ コミュニティ・スクールについては、制度開始から数年が経過しており、制度導入が目的化している学校もみられる。取組や意識が形骸化している場合、あらためて、委員の人選や目標共有の熟議をするなど、機能する連携体制の構築に向けた改革が必要




<p>【講義】 「地域と学校の連携・協働推進に向けて」</p>	<p>【内容】 はじめに、「コミュニティ・スクール」の主な機能についてご説明いただきました。</p>
<p>【講師】 北海道地学協働アドバイザー 釧路市地域学校協働本部統括的な協働活動推進委員 昭和スポーツ幼稚園長 森 敏隆 氏</p>	<p>また、学校と地域が連携することで、地域にとってのメリット、地域づくりがどのように進んでいくのかを被災地における学校の事例などをご紹介いただきました。</p>

地域全体で **子供たちの学びや成長を支える** とともに
「学校を核とした **地域づくり**」

子供の成長を軸 として
地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、
地域住民のつながりを深め、**自立した地域社会の基盤**
の構築・活性化を図る
「学校を核とした **地域づくり**」

↓

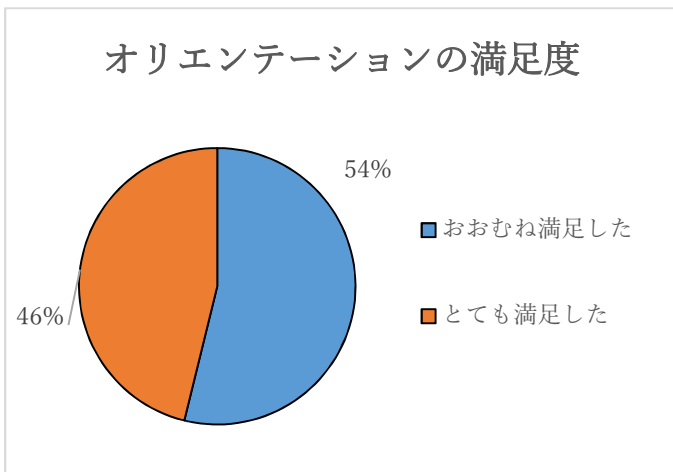
地 域 創 生



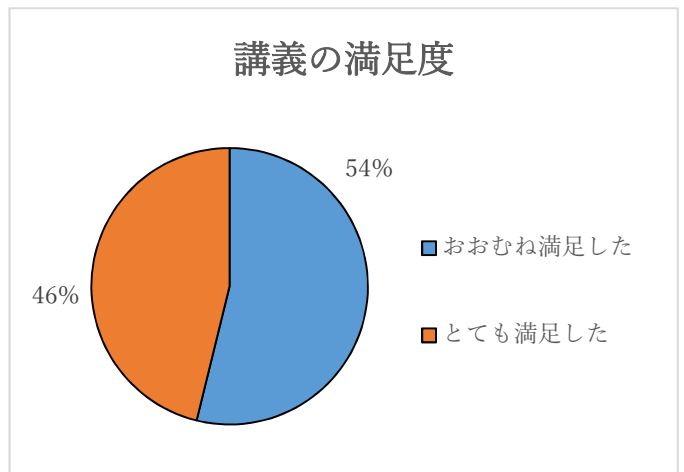
生涯学習推進センター

II アンケート結果

1 オリエンテーションの満足度



2 講義の満足度



Ⅲ 参加者からの声

○ 「学校と社会教育の関わり」について気付いたことや大切にしたいこと（自由記述、一部抜粋）

- ・ 学校運営協議会の話し合いを、いかに地域の人々の学びややりがいの刺激につなげ、地域の活性化に結びつけていくことが必要かを学びました。
- ・ 学校教育と社会教育が一体化（社会教育が学校教育の中で行われる）してきているように感じました。
- ・ 多角的な視点を大切にしていきたいと思いました。
- ・ 「地学協働」の大切さを学校・行政・地域で共有できればとても素敵な活動ができるなと思ったので、色々な人を巻き込むことを大切にしたいと思いました。
- ・ 地域住民が学校活動へ参画する過程で、地域住民自らもまた学ぶ契機となり得ることを気付きました。
- ・ 好事例を紹介していただきましたが、自分の自治体では難しいかと思うところがありました。良いところを参考するなど、うちではちょっと変えてみようといった、真似るだけでは無いようにしたい。また、自分の町のことをよく知らないといけないと思いました。
- ・ 学校、子供たちの学びに終始するのではなく、地域の人たちの学びややりがい、地域の活性化に結びつくような活動をつくっていくことを大切にする。
- ・ 学校内だけで完結するのではなく、地域資源等を生かして子ども達の成長を支えること。また、その取り組みを継続することで地域の活性化に繋げていく。
- ・ 地域学校共同活動の素晴らしい事例がとても参考になりました。しかし、同じような活動を始めるためには、自治体と学校の共通理解が必要だと思いました。
- ・ 地学協働の重要性について気付きました。
- ・ 私は公民館に勤務をしていて、学校と地域との繋がりを大切にしています。毎日、子どもたちや地域の人と接しており、双方の橋渡しになっている自負があります。今日のお話を伺って、自分の地区の学校はコミュニティ・スクールかな？自分の市にコミュニティ・スクールはあるのかな？（市内にはあると思いますが、全く聞こえてこないの、ないのかも・・・？）とも思いました。もちろん、あればいいのかもしれませんが、無くても、同じような事を実践できていれば・・・とも思っています。自分が子どもの頃、そんな難しい話を理解できていたのかなとも思っています。頭の中に残っているのは、1つ2つ程度だと思っています。だから、子ども達に話をするときは、1つだけでいいから、頭の中に残るように印象付けて話をします。たくさんのことを伝え、講師の自己満足にならないように気を付けています。
- ・ 地域の人々の学びややりがいを刺激するために知恵を絞ることが大切だと思いました。
- ・ 関係者と課題・目標の共有をすることを大切にしたいと思います。